

事業名：地域情報通信基盤整備推進交付金事業

総事業費：18,1650千円（うち交付金額：50,065千円）

事業完了日：平成22年12月7日

整備対象地域：根羽村全域

事業の内容

当村は山間地域で、県内テレビ放送を受信できない難視聴地域であったが、平成11年にCATV事業が完了し、難視聴地域は解消された。しかし、世界トップクラスの自動車産業都市である豊田市中心地へ1.5時間、名古屋市へ2時間という地理的条件であるものの、情報においては地域間の格差がみられ、住民から高速テレビインターネットの要望が寄せられていた。そこで、根羽村全域において、地上アナログ波放送停止に伴う地上デジタル波放送対策の解消、ケーブルテレビインターネット接続サービスの提供を目的に、HFC方式のケーブルテレビ施設を整備し、デジタル放送サービスとケーブルを利用しての高速インターネットサービスが利用できる環境を整え、住民生活の利便性の向上等情報格差の解消を図った。

ブロードバンド（BB）およびケーブルテレビ（CATV）の状況

サービス開始日	平成22年12月8日			
契約先	株式会社シーテック			
	整備計画時の目標		実績	
	初年度	最終	H23年度末	H27年度末
整備地域の世帯数	530	530	502	482
加入世帯	BB	30	110	133
	CATV	530	530	502
加入率 %	BB	5.7	20.8	26.5
	CATV	100	100	100

評価

平成23年7月24日までにアナログ方式が終了というスケジュールがあり、デジタル方式に変更したという経緯がある。デジタル化と同時に、下り最大30Mbps、上り最大512Mbpsで常時接続というインターネットサービスを提供できた。また、整備後の目標加入率を実績が上回ったことは評価できる。

課題

人口減少、少子高齢化が進み、平成27年4月1日現在で高齢化率47.75%と高く、新たなブロードバンド利用者数は停滞している。高齢者世帯を除くと利用率は高いため、ブロードバンド利用の利便性等を広報や地区懇談会の中で周知していく。新たな転入者に対して、個別に周知を図る。